

PAT-NO: JP408235276A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 08235276 A

TITLE: METHOD AND DEVICE FOR OPENING AUTOMATIC INSTALLMENT SAVING ACCOUNT

PUBN-DATE: September 13, 1996

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

OKAJIMA, TAKATOSHI

TAGAMI, YOSHIHIRO

YAMAGATA, TAKASHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

KK SANWA GINKOU

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP07040615

APPL-DATE: February 28, 1995

INT-CL (IPC): G06F019/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a technique capable of handling installment saving by a machine.

CONSTITUTION: This method for opening an automatic installment saving account Xb is provided with an information input process for inputting information for specifying an account Xa under a name A, a transfer money amount specifying process for specifying a transfer money amount from the account Xa under the name A to the automatic installment saving account Xb, a transfer data specifying process for specifying a transfer data from the account Xa under the name A to the automatic installment saving account Xb and a signal input process for inputting signals indicating that information signals registered beforehand in the account under the name A can be cited in the opening of the automatic installment saving account Xb.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-235276

(43)公開日 平成8年(1996)9月13日

(51)Int.Cl.⁶

G 0 6 F 19/00

識別記号

庁内整理番号

F I

G 0 6 F 15/30

技術表示箇所

Z

3 5 0 A

3 6 0

審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全 8 頁)

(21)出願番号 特願平7-40615

(22)出願日 平成7年(1995)2月28日

(71)出願人 592021076

株式会社三和銀行

大阪府大阪市中央区伏見町3丁目5番6号

(72)発明者 岡島 貴敏

東京都千代田区大手町1-1-1 株式会

社三和銀行内

(72)発明者 田上 芳弘

東京都千代田区大手町1-1-1 株式会

社三和銀行内

(72)発明者 山形 尚

東京都千代田区大手町1-1-1 株式会

社三和銀行内

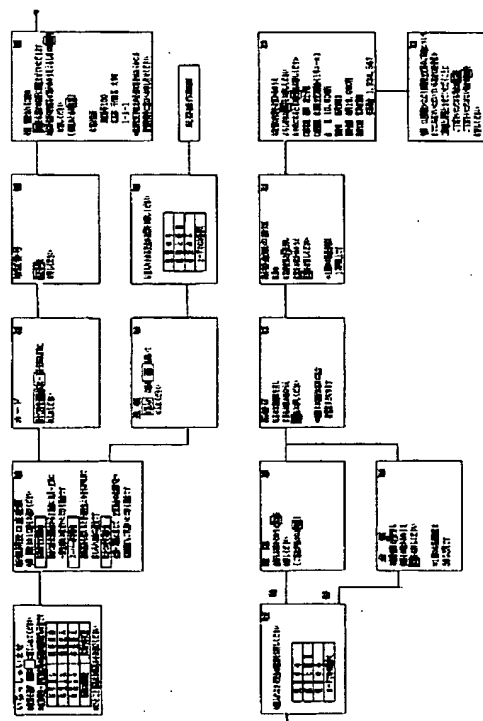
(74)代理人 弁理士 宇高 克己

(54)【発明の名称】 自動積立口座の開設方法、及びその装置

(57)【要約】

【目的】 積立預金を機械によって取り扱うことが出来る技術を提供することである。

【構成】 自動積立口座X bの開設方法であって、A名義の口座X aを特定する情報を入力する情報入力工程と、A名義の口座X aから自動積立口座X bへの振替金額を指定する振替金額指定工程と、A名義の口座X aから自動積立口座X bへの振替日を指定する振替日指定工程と、A名義の口座において予め登録されている情報信号を自動積立口座X bの開設に援用しても良い旨の信号を入力する信号入力工程とを具備する自動積立口座の開設方法。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 自動積立口座X bの開設方法であって、
A名義の口座X aを特定する情報を入力する情報入力工程と、

A名義の口座X aから自動積立口座X bへの振替金額を指定する振替金額指定工程と、

A名義の口座X aから自動積立口座X bへの振替日を指定する振替日指定工程と、

A名義の口座において予め登録されている情報信号を自動積立口座X bの開設に援用しても良い旨の信号を入力する信号入力工程とを具備することを特徴とする自動積立口座の開設方法。

【請求項2】 自動積立口座X bの開設方法であって、
A名義の口座X aを特定する情報を入力する情報入力工程と、

A名義の口座X aから自動積立口座X bへの振替金額を指定する振替金額指定工程と、

A名義の口座X aから自動積立口座X bへの振替日を指定する振替日指定工程と、

前記振替金額指定工程及び振替日指定工程で指定された内容を表示する表示工程と、

前記表示工程で表示された内容を確認する確認工程と、

A名義の口座において予め登録されている情報信号を自動積立口座X bの開設に援用しても良い旨の信号を入力する信号入力工程とを具備することを特徴とする自動積立口座の開設方法。

【請求項3】 A名義の口座X aを特定する情報を入力する情報入力工程が、A名義のIDカードを挿入する工程と登録番号を入力する工程とを含むことを特徴とする請求項1又は請求項2の自動積立口座の開設方法。

【請求項4】 開設される自動積立口座X bに関する書類をA名義の口座の住所に送る旨の表示工程と、

前記表示工程で表示された内容を確認する確認工程とを具備することを特徴とする請求項1又は請求項2の自動積立口座の開設方法。

【請求項5】 情報入力工程によって入力された情報に基づいて登録されているA名義の口座の住所を検出・表示する表示工程と、

前記表示された住所に開設される自動積立口座X bに関する書類を送る旨の表示工程と、

前記表示工程で表示された内容を確認する確認工程とを具備することを特徴とする請求項1又は請求項2の自動積立口座の開設方法。

【請求項6】 自動積立口座X bの開設初期条件を入力する初期条件入力工程を具備することを特徴とする請求項1～請求項5いずれかの自動積立口座の開設方法。

【請求項7】 自動積立口座X bを開設する装置であって、

A名義の口座X aを特定する情報を入力する情報入力手段と、

2

A名義の口座X aから自動積立口座X bへの振替金額を指定する振替金額指定手段と、

A名義の口座X aから自動積立口座X bへの振替日を指定する振替日指定手段と、

A名義の口座において予め登録されている情報信号を自動積立口座X bの開設に援用しても良い旨の信号を入力する信号入力手段とを具備することを特徴とする自動積立口座の開設装置。

【請求項8】 自動積立口座X bを開設する装置であって、

A名義の口座X aを特定する情報を入力する情報入力手段と、

A名義の口座X aから自動積立口座X bへの振替金額を指定する振替金額指定手段と、

A名義の口座X aから自動積立口座X bへの振替日を指定する振替日指定手段と、

前記振替金額指定手段及び振替日指定手段で指定された内容を表示する表示手段と、

前記表示手段で表示された内容を確認する確認手段と、

A名義の口座において予め登録されている情報信号を自動積立口座X bの開設に援用しても良い旨の信号を入力する信号入力手段とを具備することを特徴とする自動積立口座の開設装置。

【請求項9】 A名義の口座X aを特定する情報を入力する情報入力手段が、A名義のIDカード挿入手段と登録番号入力手段とを含むことを特徴とする請求項7又は請求項8の自動積立口座の開設装置。

【請求項10】 開設される自動積立口座X bに関する書類をA名義の口座の住所に送る旨の表示手段と、

前記表示手段で表示された内容を確認する確認手段とを具備することを特徴とする請求項7又は請求項8の自動積立口座の開設装置。

【請求項11】 情報入力手段によって入力された情報に基づいて登録されているA名義の口座の住所を登録手段から検出し、表示する表示手段と、

前記表示された住所に開設される自動積立口座X bに関する書類を送る旨の表示手段と、

前記表示手段で表示された内容を確認する確認手段とを具備することを特徴とする請求項7又は請求項8の自動積立口座の開設装置。

【請求項12】 自動積立口座X bの開設初期条件を入力する初期条件入力手段を具備することを特徴とする請求項1～請求項5いずれかの自動積立口座の開設装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、例えば普通預金通帳あるいは総合口座通帳と称される通帳に開設されている普通預金の口座から所定の金額を所定期日に引き落とし、自動積立口座に振り替え、積み立てを行う自動積立口座の開設をATM装置などの金融自動化機器（以下、AT

Mで総称する)で取り扱えるようにする技術に関する。

【0002】

【発明の背景】これまで、銀行や郵便局などの金融機関に毎月一定金額を積み立てる積立預金あるいは積立貯金(以下、積立預金で統一)の開設手続きは、金融機関の窓口に出して手続きをしなければならなかった。しかし、これでは、必ず、人手を要することから、コストが高く付く。

【0003】この為、窓口での手続きを経なくても積立預金を取り扱えるようにすることが望まれた。例えば、現在の銀行や郵便局などの金融機関に設置されているATM装置などの機械によって取り扱うことが望まれた。

【0004】

【発明の開示】本発明の目的は、積立預金を機械によって取り扱うことが出来る技術を提供することである。この本発明の目的は、自動積立口座Xbの開設方法であって、A名義の口座Xaを特定する情報を入力する情報入力工程と、A名義の口座Xaから自動積立口座Xbへの振替金額を指定する振替金額指定工程と、A名義の口座Xaから自動積立口座Xbへの振替日を指定する振替日指定工程と、A名義の口座において予め登録されている情報信号を自動積立口座Xbの開設に援用しても良い旨の信号を入力する信号入力工程とを具備することを特徴とする自動積立口座の開設方法によって達成される。

【0005】又、自動積立口座Xbの開設方法であって、A名義の口座Xaを特定する情報を入力する情報入力工程と、A名義の口座Xaから自動積立口座Xbへの振替金額を指定する振替金額指定工程と、A名義の口座Xaから自動積立口座Xbへの振替日を指定する振替日指定工程と、前記振替金額指定工程及び振替日指定工程で指定された内容を表示する表示工程と、前記表示工程で表示された内容を確認する確認工程と、A名義の口座において予め登録されている情報信号を自動積立口座Xbの開設に援用しても良い旨の信号を入力する信号入力工程とを具備することを特徴とする自動積立口座の開設方法によって達成される。

【0006】尚、上記発明において、A名義の口座Xaを特定する情報を入力する情報入力工程として種々の方法が考えられるが、最も簡便、かつ、安全な方法として、A名義のIDカードを挿入する工程と登録番号を入力する工程とを挙げることが出来る。すなわち、通常、普通預金通帳あるいは総合口座通帳と称される通帳を所持している者は、普通預金口座からお金を引き出す為に自己のIDカードと、これに対応して登録番号(暗証番号)とを持っており、これらを入力(IDカードをATM装置のIDカード挿入口から挿入すると共に、暗証番号をテンキーで入力)すると、開設されている普通預金口座を特定できるようになっている。従って、この既存のものを利用することにより、余分なものを持つ必要がなく、かつ、余分な費用を掛けなくても済む。かつ、こ

れまで立証されている通り、安全性にも富む。

【0007】又、上記発明において、開設される自動積立口座Xbに関する書類をA名義の口座の住所に送る旨の表示工程と、前記表示工程で表示された内容を確認する確認工程とを具備させることが好ましい。特に、情報入力工程によって入力された情報に基づいて情報処理装置(ホストコンピュータ)に登録されているA名義の口座の住所を検出・表示する表示工程と、前記表示された住所に開設される自動積立口座Xbに関する書類を送る旨の表示工程と、前記表示工程で表示された内容を確認する確認工程とを具備させることが好ましい。すなわち、この工程を具備させておくと、仮に、IDカードや登録番号(暗証番号)が他人に利用されても、その他人に開設される自動積立口座Xbに関する書類がその他人に送られないことを示すことから、悪用の出来心をストップさせる心理的要因を高める。

【0008】又、自動積立口座の開設に際して、初期時(第1回目)の金額は第2回目以降の金額と異なっても良いようにする為、自動積立口座Xbの開設初期条件を入力する初期条件入力工程を具備させておくことが好ましい。又、上記本発明の目的は、自動積立口座Xbを開設する装置であって、A名義の口座Xaを特定する情報を入力する情報入力手段と、A名義の口座Xaから自動積立口座Xbへの振替金額を指定する振替金額指定手段と、A名義の口座Xaから自動積立口座Xbへの振替日を指定する振替日指定手段と、A名義の口座において予め登録されている情報信号を自動積立口座Xbの開設に援用しても良い旨の信号を入力する信号入力手段とを具備することを特徴とする自動積立口座の開設装置によって達成される。

【0009】又、自動積立口座Xbを開設する装置であって、A名義の口座Xaを特定する情報を入力する情報入力手段と、A名義の口座Xaから自動積立口座Xbへの振替金額を指定する振替金額指定手段と、A名義の口座Xaから自動積立口座Xbへの振替日を指定する振替日指定手段と、前記振替金額指定手段及び振替日指定手段で指定された内容を表示する表示手段と、前記表示手段で表示された内容を確認する確認手段と、A名義の口座において予め登録されている情報信号を自動積立口座Xbの開設に援用しても良い旨の信号を入力する信号入力手段とを具備することを特徴とする自動積立口座の開設装置によって達成される。

【0010】尚、上記自動積立口座の開設装置において、A名義の口座Xaを特定する情報を入力する情報入力手段として、A名義のIDカード挿入手段と登録番号入力手段とを用いることが出来る。又、上記自動積立口座の開設装置において、開設される自動積立口座Xbに関する書類をA名義の口座の住所に送る旨の表示手段と、前記表示手段で表示された内容を確認する確認手段とを具備させることが好ましい。特に、情報入力手段によ

って入力された情報に基づいて情報処理装置（ホストコンピュータ）等の登録手段に登録されているA名義の口座の住所を登録手段から検出し、表示する表示手段と、前記表示された住所に開設される自動積立口座Xbに関する書類を送る旨の表示手段と、前記表示手段で表示された内容を確認する確認手段とを具備することが好ましい。

【0011】又、自動積立口座Xbの開設初期条件を入力する初期条件入力手段を具備することが好ましい。そして、上記のように構成させておくと、窓口での手続きを経なくても、ATM装置などの機械を使って自動積立口座の開設を行え、省力化のみならず、午後3時以降の時間にあってもATM装置などの機械を使用できる限り自動積立口座の開設を行うことが出来、金融機関のみならず、利用者にも極めて好ましい。

【0012】

【実施例】図1～図15は本発明の一実施例を示すもので、図1は全体の流れを示す概略図、図2～図13は各ステップにおける概略図、図14はフローチャート、図15は自動積立口座開設装置要部のブロック図である。尚、所定の室内にATM装置1が設置されており、ドアを開けて室内に入ると、総合口座と称される預金口座の所持者（預金者）AはATM装置1を操作することが出来る。

【0013】すなわち、ATM装置1に対向した預金者Aは、図2に示す如く、ATM装置1の画面に表示されている表示部分〔お引出し、お預入れ、お振込み、新規口座開設、残高照会、……〕を押す。これによって、各表示部分に対応して設けられているスイッチが作動する。例えば、〔新規口座開設〕の表示部分を押すと、これに対応したスイッチが作動して制御手段が作動し、ATM装置1の画面には、図3に示す如く、〔自動積立預金、スーパー貯蓄預金、総合口座定期預金〕等の情報が表示される。尚、この画面には〔取消〕も表示され、この〔取消〕の部分を押すと、これに対応したスイッチが作動し、終了し、最初の画面に戻る。

【0014】〔自動積立預金〕の部分を押すと、これに対応したスイッチが作動して制御手段が作動し、ATM装置1の画面には、図4に示す如く、〔カードを矢印の方向にお入れ下さい〕の情報が表示される。そこで、預金者Aは、預金通帳とセットで作成され、所持しているIDカード、所謂キャッシュカードをATM装置1のカード挿入口2に差し込む。

【0015】キャッシュカードがATM装置1のカード挿入口2に差し込まれると、これが検出手段で検出され、ATM装置1の画面には、図5に示す如く、〔暗証番号（登録番号）をお押し下さい〕の情報が表示される。そこで、ATM装置1に設けられているテンキー3を用いて、暗証番号を入力する。以上の操作によって、預金者A名義の総合口座の普通口座Xaを特定する情報

が銀行のホストコンピュータHに入力される。そして、このホストコンピュータHで登録されているA名義の総合口座通帳記載の住所が検出され、ATM装置1に転送され、住所〔東京都千代田区大手町1-1-1〕情報がATM装置1の画面に表示される（図6参照）。又、〔今回開設される口座の通帳をお届けの住所（前記A名義の総合口座通帳記載の住所）に郵送させていただきます。お届け住所の内容をお確かめのうえよろしければ〔確認〕をお押し下さい。相違のときは〔取消〕〕などの情報も表示される。この〔取消〕の部分を押すと、これに対応したスイッチが作動し、終了し、最初の画面に戻る。

【0016】住所情報に間違いがないことを確認して〔確認〕の部分を押すと、これに対応したスイッチが作動して制御手段が作動し、ATM装置1の画面には、図7に示す如く、〔お預入れなさる資金の種類をお押し下さい。〔紙幣のみ〕〔紙幣と硬貨〕〔硬貨のみ〕〔カードでのお振替え〕〕の情報が表示される。第1回目においては、手持ちの現金を用いて自動積立口座Xbを開設しようとする場合、その現金の種類に応じた部分を押す。これによって、各表示部分に対応して設けられているスイッチが作動し、制御手段が作動する。

【0017】例えば、〔紙幣のみ〕の表示部分を押した場合には、これに応じて制御手段が作動し、ATM装置1の紙幣投入口4aが開き、預金者Aは紙幣を投入できるようになる。〔紙幣と硬貨〕の表示部分を押した場合には、これに応じて制御手段が作動し、ATM装置1の硬貨投入口4bと紙幣投入口4aとが順に開き、預金者Aは硬貨と紙幣とを投入できるようになる。

【0018】〔硬貨のみ〕の表示部分を押した場合には、これに応じて制御手段が作動し、ATM装置1の硬貨投入口4bが開き、預金者Aは硬貨を投入できるようになる。所定の額のお金が所定の投入口4からボックスに投入されると、投入金子を所定のカウント手段でカウントし、そのカウント信号（投入金額、あるいは紙幣が幾らで、硬貨が幾ら）をATM装置1の画面に表示する（図8参照）。又、この画面には、〔金額をお確かめのうえ、〔確認〕を押して下さい。ご都合が悪ければ、〔取消〕〕の情報も表示される。

【0019】預金者Aは、前記表示された金額が正しい場合には、〔確認〕を押す。これによって、〔確認〕部分に対応して設けられているスイッチが作動し、制御手段が作動する。前記表示された金額が正しくない場合には、〔取消〕を押す。これによって、〔取消〕部分に対応して設けられているスイッチが作動し、制御手段が作動して元の画面に戻ると共に、投入金子が預金者Aに返却される。

【0020】〔カードでのお振替え〕の表示部分を押した場合には、これに応じて制御手段が作動し、〔お振替金額と円を押し、金額をお確かめのうえ〔確認〕をお押

して下さい)の情報がATM装置1の画面に表示される。
又、〔取消〕の情報も画面に表示される(図9参照)。
そこで、ATM装置1に設けられているテンキー3を用
いて振替金額を入力する。

【0021】以上の操作によって、第1回目の積立金額
に関する情報が入力される。この後、図10に示される
如く、ATM装置1の画面には〔振替日〕が表示され
る。すなわち、〔毎月のお振替日を押し、日付をお確
めのうえ〔確認〕をお押し下さい〕の情報が表示され
る。そこで、ATM装置1に設けられているテンキー3
を用いて振替日を指定する。

【0022】振替日が指定され、〔確認〕を押すと、
〔確認〕部分に対応して設けられているスイッチが作動
して制御手段が作動し、図11に示される如く、ATM
装置1の画面には〔振替金額〕が表示される。すなわ
ち、〔毎月のお振替金額と円を押し金額をお確めのう
え〔確認〕をお押し下さい〕の情報が表示される。そこ
で、ATM装置1に設けられているテンキー3を用いて
振替金額を指定する。

【0023】振替金額が指定され、〔確認〕を押すと、
〔確認〕部分に対応して設けられているスイッチが作動
して制御手段が作動し、ホストコンピュータHで登録さ
れている前記入力暗証番号に相当する総合口座の普通口
座Xaの名義Aの名前が検出され、この名前情報がAT
M装置1に転送される。そして、図12に示される如
く、ATM装置1の画面には〔口座名義〕〔口座種類〕
〔金額〕〔振替日〕〔振替金額〕が表示される。又、
〔お取引の内容をお確めのうえよろしければ〔確認〕
をお押し下さい。おやめになるときは〔取消〕をお押し
下さい。〕の情報が表示される。〔取消〕を押すと、
〔取消〕部分に対応して設けられているスイッチが作動
し、制御手段が作動して元の画面に戻ると共に、投入金
子が返却される。

【0024】〔確認〕を押すと、〔確認〕部分に対応し
て設けられているスイッチが作動して制御手段が作動
し、図13に示される如く、ATM装置1の画面は印鑑
共通確認画面になる。すなわち、新しく開設する自動積
立口座Xbの本人確認用の情報信号(例えば、印鑑、サ
イン等)にA名義の総合口座通帳において予め登録され
ている情報信号を援用しても良い旨の信号を入力する為
の作業が行われる。この為、〔今回口座開設いただく自
動積立定期のご印鑑について、既にお届け頂いている総
合口座普通のご印鑑と同様とさせて頂くことにご了解を
頂ける場合は〔確認〕を、ご了解を頂けない場合は〔取
消〕をお押し下さい〕の情報が表示される。〔取消〕を
押した場合には、〔取消〕部分に対応して設けられてい
るスイッチが作動し、制御手段が作動して元の画面に戻
ると共に、投入金子が預金者に返却される。〔確認〕を
押すと、〔確認〕部分に対応して設けられているスイッ
チが作動し、前記の入力事項が銀行のホストコンピュー

タHに編集・入力される。

【0025】ホストコンピュータHでは自動積立口座X
bの開設内容に支障がないか否か、つまり〔カードで
のお振替え〕による振替金額に相当する金額が総合口座X
aにおける普通預金として残存しているか否か等のチェ
ックが行われる。そして、支障のないことがチェックさ
れると、自動積立口座Xbの開設内容が設定登録され
る。尚、支障がある場合には、その内容がホストコンピ
ュータHからATM装置1に転送され、画面に表示され
ると共に、元の画面に戻る。

【0026】そして、ホストコンピュータHに設定・登
録されたのを受けて、キャッシュカードがATM装置1
のカード挿入口2から排出されると共に、自動積立口座
Xbの内容がATM装置1のプリンタ手段から打ち出さ
れ、預金者に渡され、自動積立口座Xbの開設手続きは
終了する。尚、開設された自動積立口座Xbの通帳は、
後日、預金者に郵送される。

【0027】このように、これまで、金融機関の窓口を
経なければ自動積立口座の開設が出来なかったものの、
上記のように構成しておくことによって、窓口での手
続きを経なくても、ATM装置1を使って自動積立口座
の開設を取り扱うことが出来る。すなわち、午後3時以
降の時間にあってもATM装置1を使用できる限り自動
積立口座Xbの開設を行うことが出来、金融機関のみな
らず、利用者にも極めて好ましい。

【0028】

【効果】本発明によれば、自動積立口座の開設を機械に
よって取り扱うことが出来、自動積立口座の開設コスト
が低廉になる。又、自動積立口座の開設に時間の制約が
小さくなり、利用者にとっても極めて好都合である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示す概略図

【図2】本発明の一部概略図

【図3】本発明の一部概略図

【図4】本発明の一部概略図

【図5】本発明の一部概略図

【図6】本発明の一部概略図

【図7】本発明の一部概略図

【図8】本発明の一部概略図

【図9】本発明の一部概略図

【図10】本発明の一部概略図

【図11】本発明の一部概略図

【図12】本発明の一部概略図

【図13】本発明の一部概略図

【図14】本発明のフローチャート

【図15】本発明の自動積立口座開設装置のブロック図

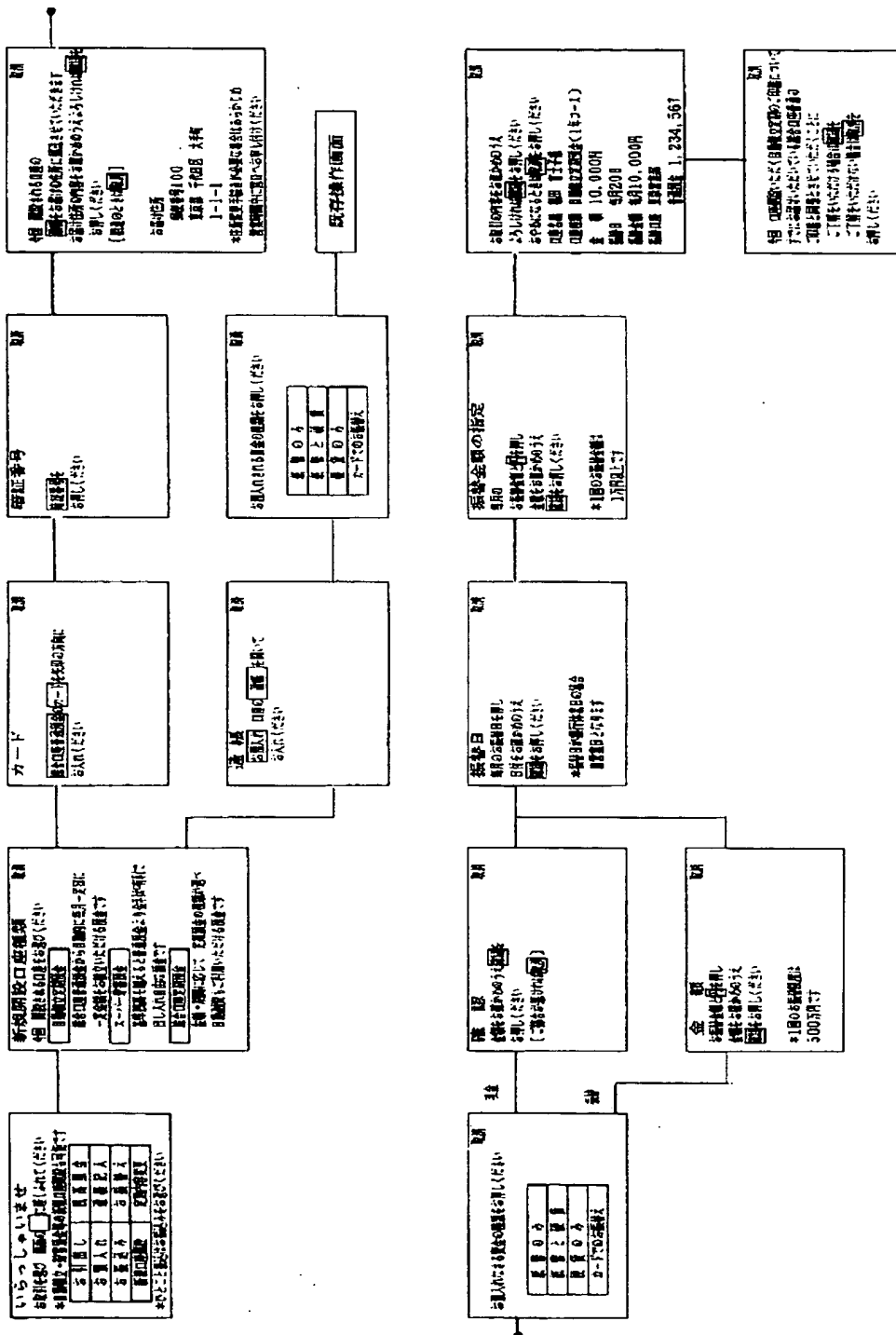
【符号の説明】

- | | |
|---|--------|
| 1 | ATM装置 |
| 2 | カード挿入口 |
| 3 | テンキー |

4.a 紙幣投入口

4 b 硬貨投入口

【図 1】



【図2】

いらっしゃいませ
お取引先様 画面の□に記入してください
*自動立・貯蓄預金等の新規口座開設も可能です

お引き出し	残高照会
お預入れ	通帳記入
お振込み	お振替え
新規口座開設	定期内容変更

*ひとつのことばは必ずお読みください

【図3】

新規開設口座種類 取消
今回 開設される口座をお選びください

自動立定期預金
総合口座普通預金から自動的に毎月一定日に一定金額をお預立いただける預金です

スーパー貯蓄預金
基準残高を越えると普通預金より金利が有利に出し入れ自由な預金です

総合口座定期預金
金額・期間に応じて 定期預金の種類が選べ自動融資もご利用いただける預金です

【図4】

暗証番号 取消
暗証番号をお選びください

【図7】

【図5】

暗証番号 取消
暗証番号をお選びください

【図6】

今回 開設される口座の
暗証をお振付の住所に郵送させていただきます
お振付住所の内容をお確かめのうえよろしければ暗証をお送りください
[お送のときは取消]

お振付住所
郵便番号100
東京都千代田区大手町
1-1-1
*住所変更手続きが必要な場合はあらかじめ営業時間中に窓口へお申し付けください

【図8】

確認 取消
金額をお確かめのうえ暗証をお送りください
[ご都合が悪ければ取消]

【図9】

金額 取消
お振替金額と□を押し金額をお確かめのうえ暗証をお送りください
*1回のお振替限度は500万円です

【図10】

振替日 取消
毎月のお振替日を選び日付をお確かめのうえ暗証をお送りください
*振替日が銀行休業日の場合前営業日となります

【図11】

振替金額の指定 取消
毎月のお振替金額と□を選び金額をお確かめのうえ暗証をお送りください
*1回のお振替金額は1万円以上です

【図12】

お取引の内容をお確かめのうえよろしければ暗証をお送りください
おやめになるときは暗証をお送りください
口座名義 福田 富士子
口座種類 自動立定期預金(1年コース)
金額 10,000円
振替日 毎月20日
振替金額 毎月10,000円
振替口座 東京営業部
当座預金 1,234,567

【図13】

今回 口座開設いただく自動立定期の口座についてすでに開けたいという総合口座普通のご希望と同時にお申し込みいただくことにしていただく場合は暗証をお送りください
ご希望をいただけない場合は暗証をお送りください

【図 15】

